



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 和弘食品株式会社 上場取引所 東・札
コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 加世田 十七七
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 藤井 一真 TEL 0134(62)0505
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	8,035	3.6	465	△26.8	475	△26.7	328	△32.1
2025年3月期中間期	7,759	7.8	636	13.6	648	11.7	483	19.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 665百万円（△15.2%） 2025年3月期中間期 784百万円（△13.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 131.64	円 銭 —
2025年3月期中間期	194.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	14,930	8,988	60.2
2025年3月期	14,564	8,553	58.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 8,988百万円 2025年3月期 8,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	97.00	97.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	86.00	86.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,112	5.3	1,472	△7.5	1,474	△8.4	1,072	△11.2	430.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	2,847,957株	2025年3月期	2,847,957株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	352,759株	2025年3月期	355,617株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	2,493,402株	2025年3月期中間期	2,490,931株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで2025年11月14日（金）に開示し、同日当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかに持ち直しているものの、米国の関税政策における影響の懸念もあり、引き続き不透明感が残る状況となっております。

国内調味料業界におきましては、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇による食品価格の値上げが継続しており、消費者の節約志向が強まり、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。北米におきましては、物価高により消費動向が外食から中食へシフトする動きが見られ、外食レストラン等では既存店の伸び率が鈍化する傾向が見られております。

このような状況のもと、当社グループは2023年11月に策定した中期経営計画「ザ・グレートリセット」で掲げた「既存事業の磨き込みと進化」、「事業領域の拡大と新たな価値創造」、「組織改革と人財育成」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

① 売上高

売上高は8,035百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

日本セグメントにおいては、外食向けの販売が好調であったことにより、売上高は6,329百万円(同6.6%増)となりました。

米国セグメントにおいては、当社顧客層である外食レストラン等からの受注減少により、売上高は1,824百万円(同6.2%減)となりました。

② 営業損益

営業利益は465百万円(同26.8%減)となりました。

日本セグメントにおいては、売上高は増加したものの海外での新たな拠点視察などの成長投資を推し進めていることもあり、営業利益は125百万円(同6.3%減)となりました。

米国セグメントにおいては、売上高の減少及び営業・生産体制強化のため人件費が増加したこと等により、営業利益は356百万円(同31.1%減)となりました。

③ 経常損益

経常利益は475百万円(同26.7%減)となりました。

日本セグメントにおいては、連結子会社であるWAKOU USA INC. からの配当金443百万円を計上し、経常利益は560百万円(同20.1%増)となりました。

米国セグメントにおいては、営業利益の減少に伴い、経常利益は375百万円(同29.3%減)となりました。

④ 親会社株主に帰属する中間純損益

親会社株主に帰属する中間純利益は328百万円(同32.1%減)となりました。

日本セグメントにおいては、経常利益の増加に伴い、中間純利益は504百万円(同23.1%増)となりました。

米国セグメントにおいては、営業利益の減少に伴い、中間純利益は276百万円(同27.9%減)となりました。

この結果、当中間連結会計期間における1株当たり中間純利益は131円64銭となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し14,930百万円(前連結会計年度比2.5%増)となりました。これは主に流動資産が713百万円減少、有形固定資産が464百万円、投資その他の資産が597百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し5,942百万円(同1.1%減)となりました。これは主に未払法人税等が78百万円、賞与引当金が80百万円、長期借入金が126百万円減少、固定負債その他が222百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ434百万円増加し8,988百万円(同5.1%増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益328百万円計上、その他有価証券評価差額金が387百万円増加、配当金の支払額241百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,109百万円減少し2,389百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて288百万円少ない109百万円の収入となりました。

これは主に税金等調整前中間純利益473百万円の計上と、売上債権の増加165百万円、棚卸資産の増加224百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて603百万円支出が増加し780百万円の支出となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出額746百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて188百万円支出が増加し401百万円の支出となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出126百万円、配当金の支払241百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期の連結業績予想に現在のところ変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,499,210	2,389,769
受取手形及び売掛金	2,152,567	2,314,349
商品及び製品	1,233,623	1,333,544
仕掛品	35,228	17,550
原材料及び貯蔵品	769,441	911,346
その他	171,427	181,792
貸倒引当金	△1,903	△2,101
流動資産合計	7,859,594	7,146,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,706,262	1,944,232
機械装置及び運搬具(純額)	941,112	1,080,497
使用権資産(純額)	958,657	917,402
土地	1,335,926	1,444,889
建設仮勘定	171,074	197,399
その他(純額)	74,698	68,306
有形固定資産合計	5,187,731	5,652,728
無形固定資産	45,490	62,730
投資その他の資産		
その他	1,477,566	2,074,921
貸倒引当金	△5,829	△5,829
投資その他の資産合計	1,471,737	2,069,091
固定資産合計	6,704,959	7,784,551
資産合計	14,564,554	14,930,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,101,803	1,163,394
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	252,324	252,324
未払法人税等	105,747	27,215
賞与引当金	312,399	231,970
その他	729,302	687,674
流動負債合計	4,001,576	3,862,578
固定負債		
長期借入金	668,505	542,343
リース債務	959,438	923,178
役員退職慰労引当金	215,270	228,087
執行役員退職慰労引当金	10,745	8,487
資産除去債務	33,054	33,118
その他	121,998	344,804
固定負債合計	2,009,012	2,080,018
負債合計	6,010,588	5,942,597

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,414,473	1,423,302
利益剰余金	4,635,401	4,721,867
自己株式	△211,820	△210,118
株主資本合計	7,251,850	7,348,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	497,234	884,348
為替換算調整勘定	804,880	755,009
その他の包括利益累計額合計	1,302,114	1,639,358
純資産合計	8,553,965	8,988,205
負債純資産合計	14,564,554	14,930,803

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	7,759,582	8,035,548
売上原価	5,602,218	5,865,297
売上総利益	2,157,364	2,170,250
販売費及び一般管理費	1,521,244	1,704,669
営業利益	636,119	465,581
営業外収益		
受取利息	12	10,208
受取配当金	2,378	2,971
受取賃貸料	6,891	428
為替差益	28,793	3,290
受取保険金	482	133
デリバティブ利益	—	5,883
その他	6,165	4,421
営業外収益合計	44,723	27,337
営業外費用		
支払利息	6,410	13,975
デリバティブ損失	21,639	—
その他	4,598	3,935
営業外費用合計	32,648	17,911
経常利益	648,194	475,007
特別利益		
固定資産売却益	4	1
投資有価証券償還益	—	4,992
特別利益合計	4	4,993
特別損失		
固定資産除却損	10,456	6,963
特別損失合計	10,456	6,963
税金等調整前中間純利益	637,741	473,036
法人税、住民税及び事業税	142,028	109,594
法人税等調整額	12,401	35,219
法人税等合計	154,429	144,814
中間純利益	483,312	328,222
親会社株主に帰属する中間純利益	483,312	328,222

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	483,312	328,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,951	387,114
為替換算調整勘定	296,307	△49,871
その他の包括利益合計	301,258	337,243
中間包括利益	784,570	665,465
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	784,570	665,465
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	637,741	473,036
減価償却費	227,626	223,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,968	198
賞与引当金の増減額(△は減少)	△99,302	△80,341
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,750	△14,521
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,576	12,951
受取利息及び受取配当金	△2,390	△13,180
受取保険金	△482	△133
為替差損益(△は益)	△25,680	△3,888
デリバティブ損益(△は益)	21,639	△5,883
支払利息	6,410	13,975
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△1
固定資産除却損	10,456	6,963
売上債権の増減額(△は増加)	76,237	△165,156
棚卸資産の増減額(△は増加)	△95,464	△224,561
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,023	62,681
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,992
未収入金の増減額(△は増加)	1,604	11,988
長期前払費用の増減額(△は増加)	1,121	436
未払金の増減額(△は減少)	△83,833	△9,314
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,800	3,468
その他	98,124	64,138
小計	769,875	351,018
利息及び配当金の受取額	9,861	21,664
保険金の受取額	482	133
利息の支払額	△8,153	△21,213
法人税等の支払額	△374,540	△242,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,526	109,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△164,882	△746,920
有形固定資産の売却による収入	333	1
無形固定資産の取得による支出	△6,619	△21,873
投資有価証券の取得による支出	△960	△930
投資有価証券の売却による収入	—	8,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△5,406	△18,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,536	△780,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△205,448	△126,162
リース債務の返済による支出	△42,917	△33,475
配当金の支払額	△164,347	△241,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,713	△401,394
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132,648	△36,662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△125,372	△1,109,440
現金及び現金同等物の期首残高	2,948,470	3,499,210
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,823,098	2,389,769

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(譲渡制限付株式報酬制度)

当社は、2021年6月24日開催の第58回定時株主総会の決議により、当社の社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」という。）に対して当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、対象取締役を対象とする新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度を導入しております。

なお、2025年6月27日開催の当社取締役会において決議した譲渡制限付株式報酬の割当として2025年7月25日に自己株式2,858株の処分を実施しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,814,764	1,944,817	7,759,582	—	7,759,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,626	—	122,626	△122,626	—
計	5,937,390	1,944,817	7,882,208	△122,626	7,759,582
セグメント利益	133,739	518,110	651,849	△15,730	636,119

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位: 千円)

セグメント間取引消去	△3,353
棚卸資産の調整額	△12,376
合計	△15,730

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,210,789	1,824,759	8,035,548	—	8,035,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118,811	—	118,811	△118,811	—
計	6,329,600	1,824,759	8,154,359	△118,811	8,035,548
セグメント利益	125,296	356,961	482,257	△16,676	465,581

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位: 千円)

セグメント間取引消去	537
棚卸資産の調整額	△17,213
合計	△16,676

2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。